

case

## 行政事務

保健福祉部  
健康づくり推進課

(平成23年度採用)

## わたしを表すキーワード

keyword 01

#育児

娘と息子、2人の子どもがおり、長男誕生時に1か月育休を取得しました。この経験を後輩への助言や、今後の育児に活かしたいと考えています。

keyword 02

#健康

スマートウォッチを活用したランニングや読書など、健康づくりを意識しています。子どもと一緒に遊べる体力を維持するのが目標です。

keyword 03

#予算

keyword 04

#読書

keyword 05

#家族

5



## 略歴

H23～H24 県中保健福祉事務所 生活保護課  
 H25～H27 福島県立湖南高等学校  
 H28～R元 農林水産部 農林総務課  
 R2～現在 保健福祉部 健康づくり推進課

## 育児と両立しながら、自分自身も成長できる仕事です

健康づくり推進課では、所属の予算・決算などを取りまとめる仕事を担当しています。自治体の運営上重要な仕事であるため、これまでの業務経験を活かしながら、各事業担当の方と協力して業務を行っております。

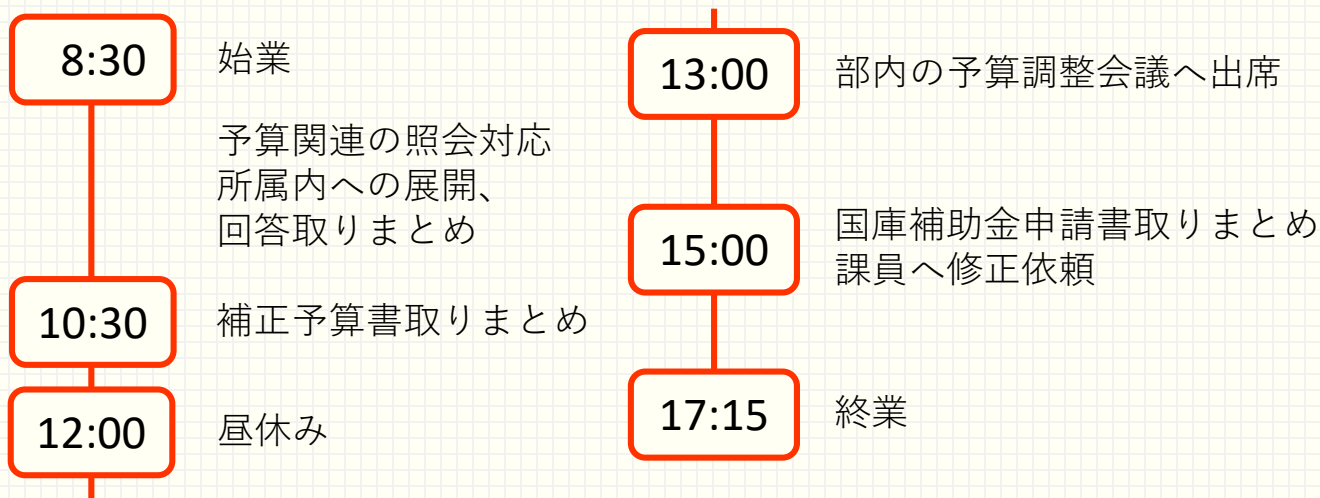
予算関係の業務は、社会の課題に対して県としてどのような対応をとるか、政策形成過程に携わることができるためやりがいを感じています。

## 県職員を目指した理由

自分の生まれ育った福島県で、県民の方のよりよい生活の実現に貢献したいと思い、福島県職員を志望しました。行政事務は多種多様な分野の仕事があるため、広い視野をもって自分自身を成長させていきたいと思っています。



## とある一日のスケジュール



## 印象に残っている経験・エピソード

新採用のときに生活保護のケースワーカーを担当していました。ケースワーカーの仕事は、市町村の職員の方や医療・介護など専門職の方と連携して、生活が困窮している方を支援する仕事です。さまざま境遇の人と対面で話をすることで、支援に対する要望や苦情など、いろいろな生の声を聴けたことが印象に残っています。



↑部内の経理担当者会議に出席。

## 福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



福島県は人口減少や少子高齢化の進行など多くの課題を抱えています。さまざまな課題に対して、常に県民目線で地域の実情や必要となる対策を考え、業務を工夫して行える職員でありたいと思います。また、自分自身が仕事と家庭のバランスを大切にしながら、職員として成長できるよう努力していきたいと思っています。

(令和5年3月現在)